

熊本市観光マーケティング戦略

概要版



背景・目的

熊本市は、平成28年（2016年）熊本地震により市内全域で甚大な被害を受けましたが、熊本城天守閣の早期復旧・段階的公開への取組、国際スポーツ大会開催などにより、本市観光は順調な回復傾向にありました。

しかしながら、令和2年（2020年）の新型コロナウイルス感染症の世界的流行を受け、旅行需要が大きく落ち込んだことから、需要を下支えするための本市独自の経済対策に重点的に取組み、さらには新型コロナウイルス感染症の第5類感染症への移行や半導体関連産業の熊本

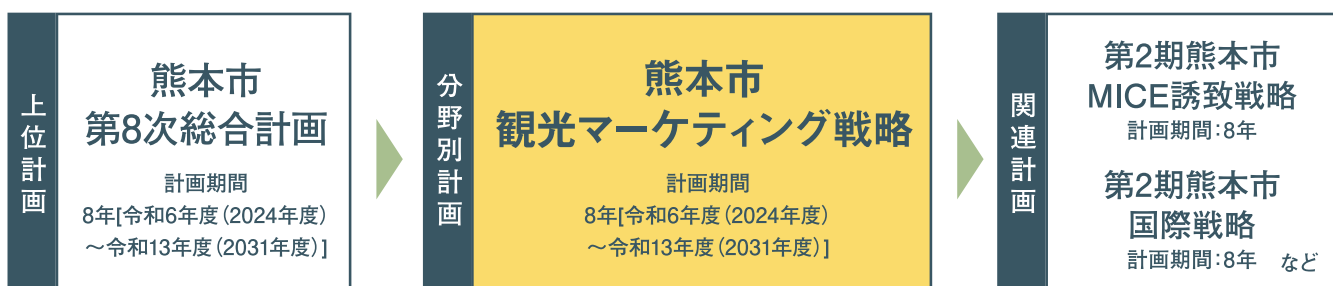
進出を契機とする国際定期便の就航などが影響し、現在、本市の旅行需要は急速な回復傾向にあります。

一方で、宿泊・飲食サービス業など観光産業を担う人材の不足や、人口減少による今後の国内市場の縮小など新たな課題とともに、コロナ禍を経た旅行者の行動や意識変容、サステナブルな観光への意識の高まりといったニーズの多様化など、観光を取り巻く状況に大きな変化が現れており、これらの課題やニーズ等に戦略的に対応していくことが求められています。

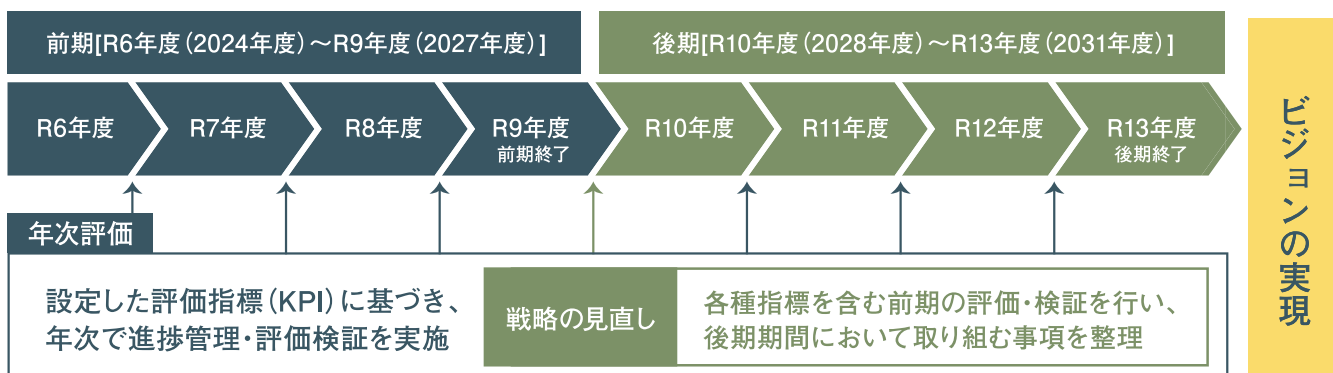
本市の観光振興への取組をこれまで以上に強化していくための基本的な指針として、
「熊本市観光マーケティング戦略」を策定しました。

位置づけ・期間

本戦略は、熊本市第8次総合計画を上位計画として、めざすまちの姿の実現に向けたビジョンのうち、本市の観光振興に関する取組を具体化したものです。また、関連計画との整合・連携も図っていきます。

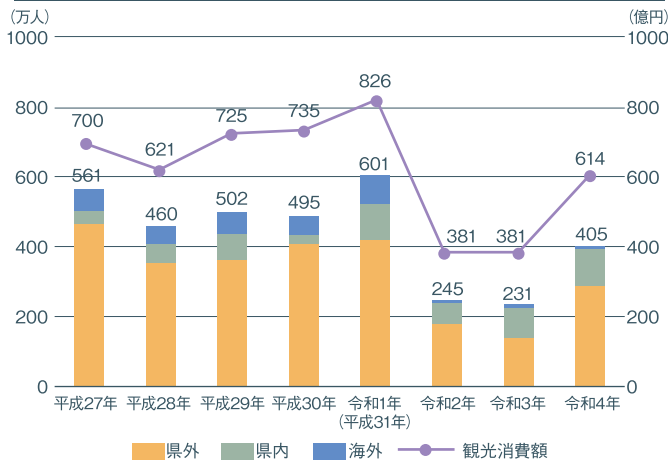


※関連計画と整合、連携

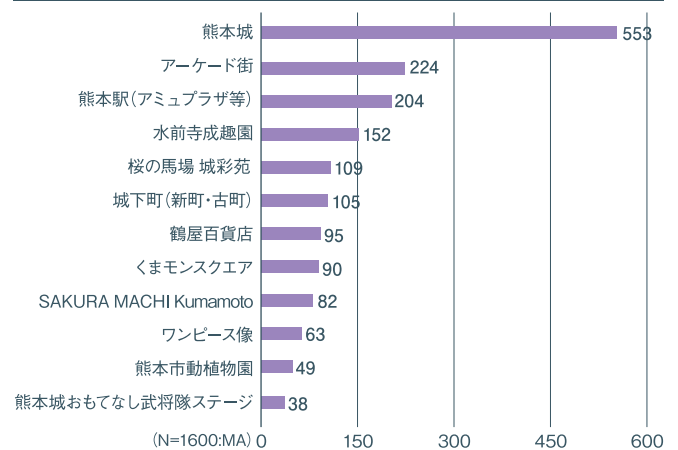


熊本市観光を取り巻く現状と課題

観光入込客数・観光消費額の推移

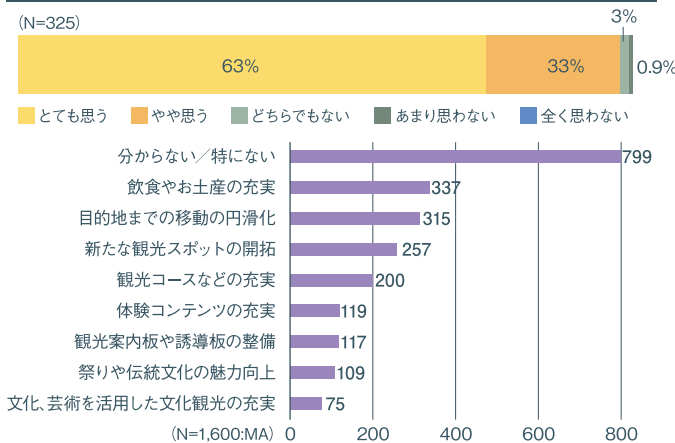


熊本旅行で訪れた観光スポット・施設 (旅行者)

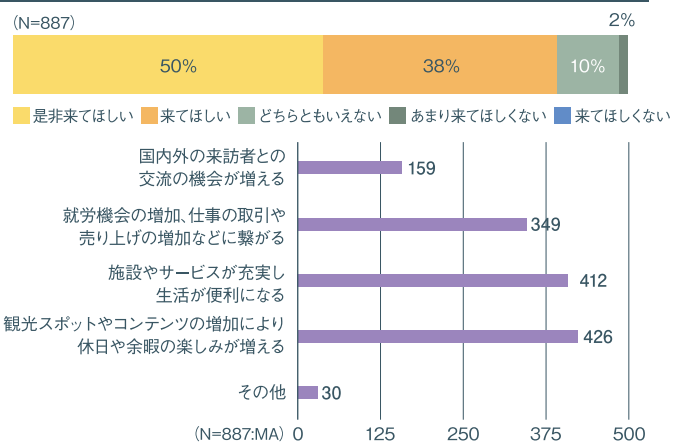


本市の観光消費額は、新型コロナウイルス感染症の流行により、令和2年(2020年)及び令和3年(2021年)には大きく落ち込みましたが、旅行需要の回復に伴い、現在は再び上昇傾向にあります。また、本市への旅行で訪れた施設としては、熊本城が他の施設と比較しても特に多く、観光客に広く認知されている市の重要な観光資源であることが分かります。

熊本への再訪意識と改善してほしい点(旅行者)



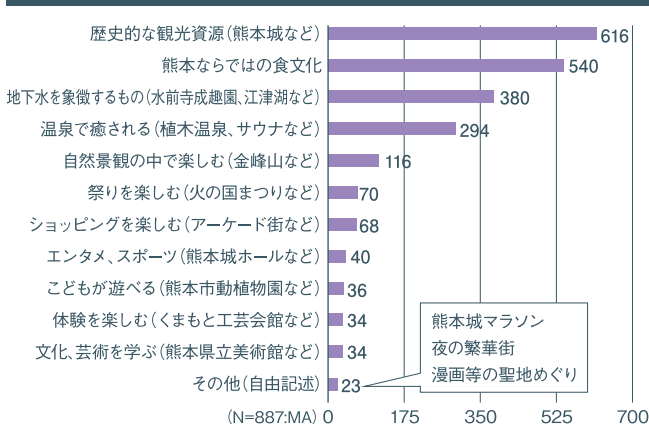
観光客が来熊することについての印象とプラスに感じる点(市民)



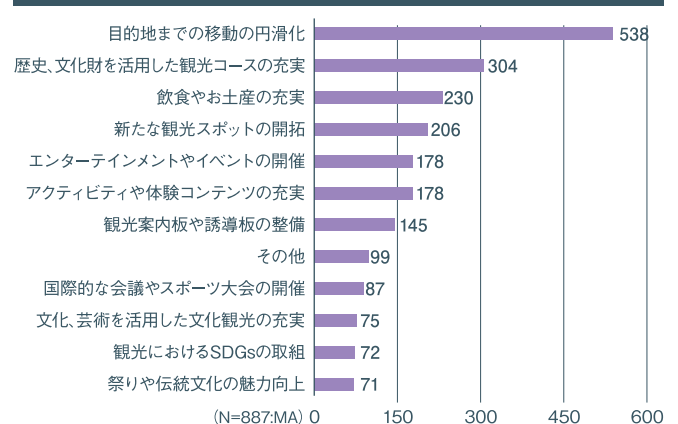
熊本旅行への再訪意識は高い結果が出ている一方で、観光スポット、飲食店、お土産、文化芸術施設、アクティビティ・体験コンテンツの不足や目的地までの移動の円滑化などが、観光客の更なる満足度の向上、再訪へとつなげるために改善すべき課題です。また、観光客が本市を訪問することに対して好意的な印象を持つ市民が多く、市民生活と観光客の観光行動のバランスを取った取組を引き続き進めていくことが重要です。

参考

熊本来訪者におすすめしたいもの(市民)



観光向上のために取り組むべきこと(市民)



訪れる人が、暮らす人と共に



基本方針1

世界に選ばれる観光都市・熊本の創造

熊本城をはじめとする歴史文化や世界に誇る水資源、中心市街地の賑わいなどの、熊本市ならではの観光資源の魅力向上や高付加価値化を図り、観光都市としてのプレゼンスを高めます。



基本方針2

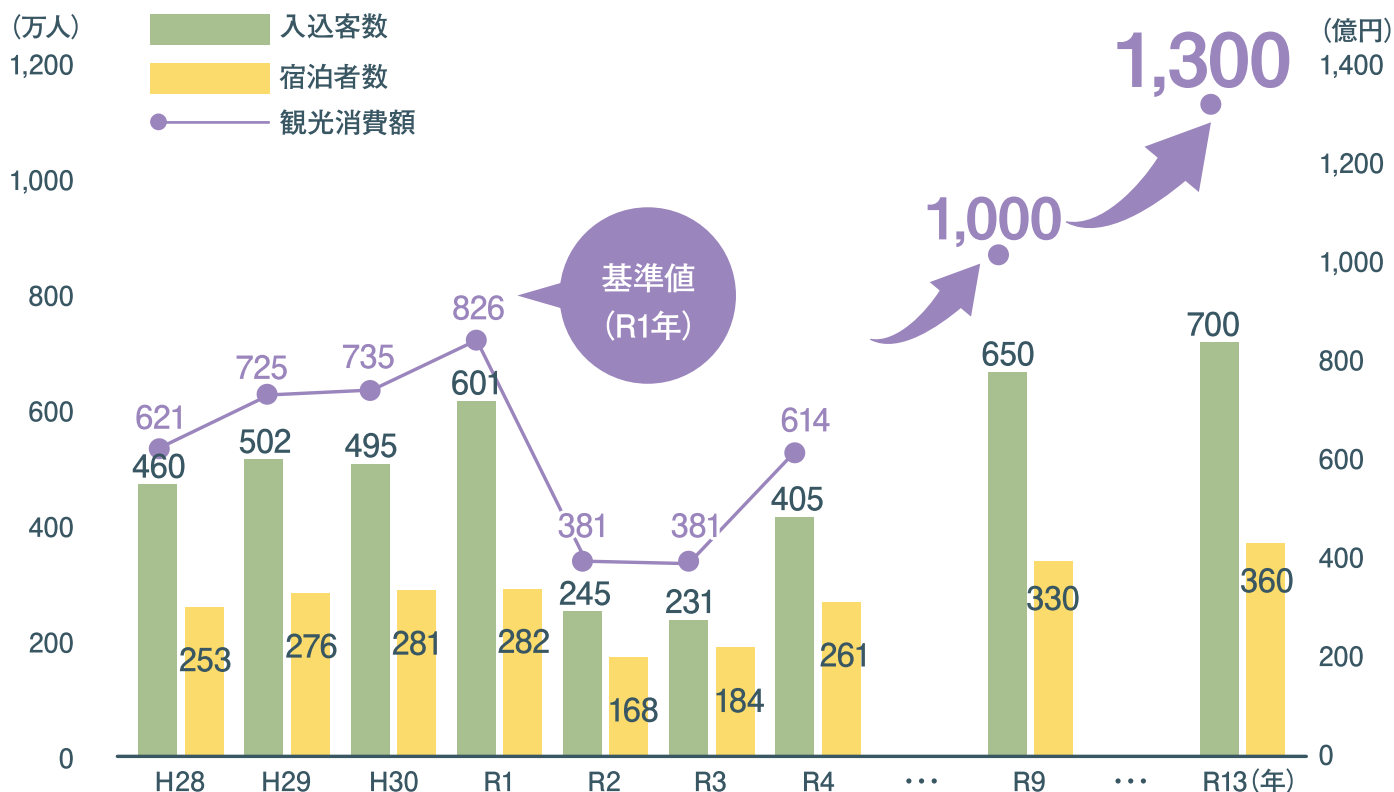
訪れる人に優しい滞在環境の構築

質の高い観光情報の発信や目的地までの移動の円滑化、快適で安心・安全な滞在環境の構築に取り組み、国内外の旅行者の満足度向上を図ります。

目標値

年間の観光消費額1300億円に挑戦

本戦略に基づく各種取組により、観光資源の魅力をいかした本市へのさらなる誘客、滞在及び消費を喚起することで、最終的な達成指標(KGI)である観光消費額1,300億円の達成を目指します。



上質なときを創るまち くまもと



基本方針3

強みを活かした戦略的な誘客促進

国内外の市場調査を踏まえたニーズ把握や、戦略的なプロモーション、熊本ならではのMICEの推進、ファンと一体となった情報発信などの戦略的な誘客を図ります。



基本方針4

観光振興を通じた熊本市の活性化

観光産業の経営基盤強化や市民と旅行者による持続可能な観光まちづくりの推進に取り組み、観光振興を通じた熊本市の活性化を図ります。

達成指標 (KGI) の達成に向けて、各基本方針に対し、「KPI①：旅行需要の回復、発展にかかる指標」及び「KPI②：持続可能な観光の推進にかかる指標」の2つの視点で整理した評価指標 (KPI) を設定します。

評価指標 (KPI) 一覧

基本方針	視点	指標 (抜粋)	基準値	目標値 [R9年度 (2027年度)]	目標値 [R13年度 (2031年度)]
1	①	熊本城入園者数	1,303,929人 [R5(2023)年]	1,660,000人	1,800,000人
	②	観光客の推奨意向	43.1% [R5(2023)年]	50%	60%
2	①	延べ宿泊者数 (国内客・海外客)	2,819,249人 [R1(2019)年]	3,300,000人	3,600,000人
	②	観光客の満足度	62.5% [R5(2023)年]	70%	80%
3	①	観光客入込数	6,014,000人 [R1(2019)年]	6,500,000人	7,000,000人
	②	観光客の再訪意向	63.4% [R5(2023)年]	70%	80%
4	①	観光消費単価 (国内宿泊客)	19,069円/人・日 [R1(2019)年]	21,000円/人・日	23,000円/人・日
	②	観光振興が地域経済の活性化や市民生活の向上に役立っていると 感じる市民の割合	57.3% [R5(2023)年度]	65%	70%

戦略のビジョン実現に向けた取組

基本方針1

世界に選ばれる 観光都市・熊本の創造

基本施策1

熊本城の魅力の最大化

戦略プログラム

- ①復旧過程の公開も含めた熊本城の価値向上
- ②熊本城の特色をいかしたさらなる活用の推進

基本施策2

世界に誇る水資源の ブランディング

戦略プログラム

- ①国際的な地下水都市としての地位確立
- ②豊かな水が育む「食」のブランド化

基本施策3

観光資源の魅力創出

戦略プログラム

- ①歴史文化のストーリー化による回遊性向上
- ②自然をいかした体験型観光の推進

基本施策4

“まち”の魅力の発揮

戦略プログラム

- ①中心市街地の賑わいの創出
- ②ニューツーリズムの推進

具体的取組

- ・熊本城の復旧過程の段階的な公開やユニークベニュー等への活用促進
- ・「くまもと水ブランド」を国内外へ広く発信
- ・肥後細川文化等の歴史背景を踏まえた観光コンテンツの作成
- ・中心市街地の賑わい創出に向けた取組みの展開
- ・夜間や早朝にも楽しめる観光素材の開発 など

基本方針2

訪れる人に優しい 滞在環境の構築

基本施策1

質の高い観光情報の発信

戦略プログラム

- ①観光案内機能の強化
- ②質の高いガイドの提供

基本施策2

目的地までの移動の円滑化

戦略プログラム

- ①利便性の高い交通サービスの提供
- ②移動手段の多様化などによる二次交通の充実

基本施策3

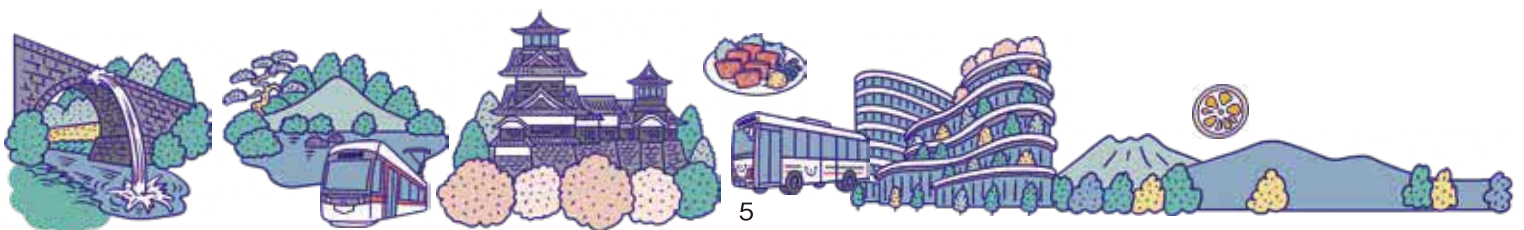
快適で安心・安全な 滞在環境の構築

戦略プログラム

- ①多様なニーズに応じた受入体制の充実
- ②危機事象発生時等における対応強化

具体的取組

- ・パンフレットや案内サインなどの表記等の充実
- ・SNSやウェブサイトを通じた旅行中に役立つ観光情報の発信
- ・地域通訳案内士の育成、利用機会の拡大
- ・多様な食習慣や文化、慣習等への対応促進
- ・災害時等の情報発信体制の整備 など



戦略で目指すビジョン「訪れる人が、暮らす人と共に上質なときを創るまち くまもと」の実現に向けて
取り組む方向性を示す4つの基本方針と、それに基づく基本施策及び戦略プログラムを体系的に整理しました。

基本方針3

強みをいかした 戦略的な誘客促進

基本施策1

市場調査に基づく 施策の検討・検証

戦略プログラム

- ①継続的なマーケットリサーチ
- ②リサーチデータの活用推進

基本施策2

戦略的なプロモーション

戦略プログラム

- ①国内外からの誘客につながる
プロモーションの展開
- ②広域周遊観光の推進

基本施策3

熊本ならではのMICEの推進

戦略プログラム

- ①戦略的なMICEの誘致
- ②熊本を訪れるきっかけの創出や魅力の向上

基本施策4

熊本ファンと一体となった誘客促進

戦略プログラム

- ①熊本ファンとのネットワークの構築
- ②熊本ファンと連携したプロモーションの推進

具体的取組

- ・国内外の旅行動向等の把握と誘客施策の検討・検証への活用
- ・旅行の行動に合わせた媒体、手法による効果的な誘客施策の展開
- ・医療系や水資源等の本市の特性を生かしたMICE誘致
- ・本市とつながる旅行者や企業など（＝熊本ファン）とのネットワークをいかしたプロモーションの推進 など

基本方針4

観光振興を通じた 熊本市の活性化

基本施策1

観光産業の経営基盤強化

戦略プログラム

- ①観光産業の担い手づくり
- ②観光サービスの高付加価値化や生産性の向上

基本施策2

持続可能な 観光まちづくりの推進

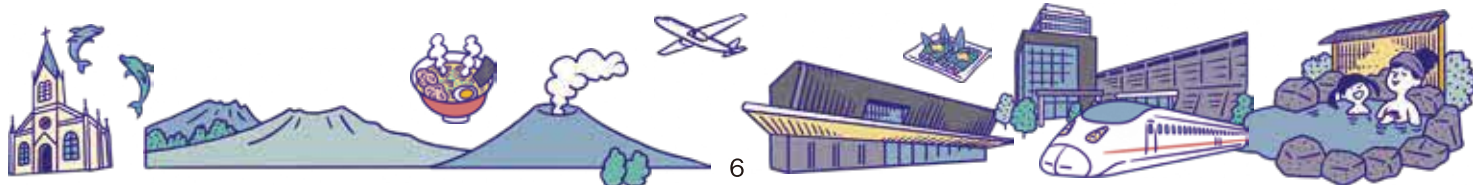
戦略プログラム

- ①レスポンスブルツーリズムの推進
- ②観光資源の保全、継承への市民意識の醸成



具体的取組

- ・今後の観光産業を担う人材の育成、就職促進、事業創出等の支援
- ・観光DXや各種サービスの域内調達率向上等の推進
- ・高付加価値の旅行や国際会議等の誘致促進のためのホテル誘致検討
- ・次世代を担うこどもや若者をはじめとする市民が熊本市の観光の魅力に触れ、理解する機会の創出 など





本戦略の本編は
こちらから
ご覧ください

【お問い合わせ先】熊本市観光政策課
TEL:096-328-2393